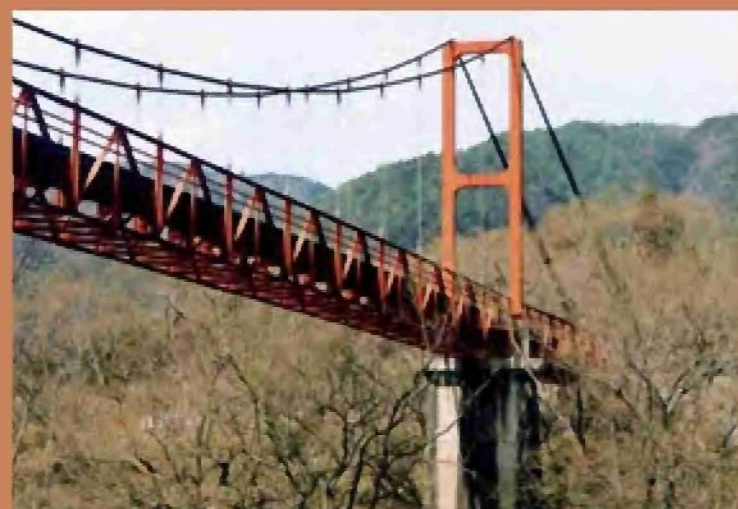


# 七色の夢

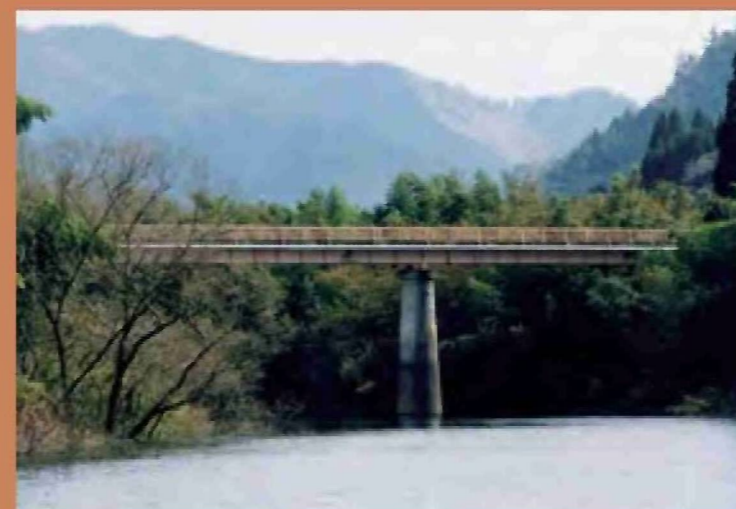
ライトブルーの向山橋、レモン色の長由利橋、……………。  
あい色、さんご朱色、灰紫色、若緑色、うすピンク色と、貯水池にかかる七つの橋は、あざやかな七色に染め分けられている。  
芸術院会員の和田三造画伯が色をつけた。  
殺風景なダム建設の溪谷をいろどる七色の橋は、そのまま新しい町づくりに意気込む町民の夢の象徴でもある。  
町全体を観光地にする ―――― これが生まれ変わる町の夢だ。  
大牧町長(当時)の構想では、ダム、上由良溪谷、芦生演習林の三つをひっくるめて、「京都の軽井沢」にするのだそうだ。  
貯水池にはボート、ポンポン船を浮かべ、遊覧船で七色の橋をくぐる。兩岸には桜とモミジを植え、上由良溪谷でシャクナゲを楽しみ、演習林では高山植物、原始林におどろく。  
まだある。…………… (当時のある新聞の紙面より)



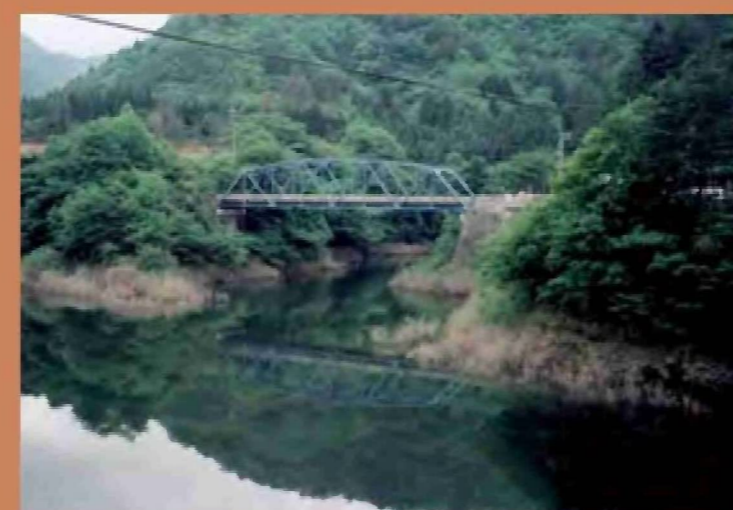
レモン色の長由利橋  
橋長54.8m、幅員1.2m



さんご朱色の小野橋  
橋長123.5m、幅員2.0m



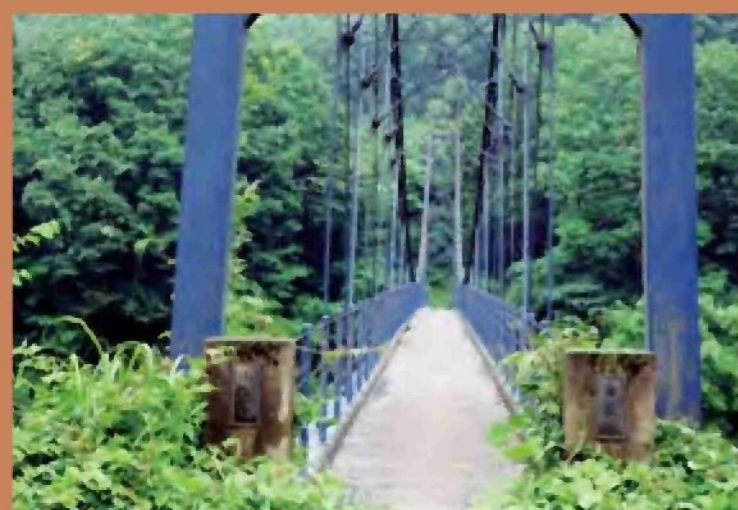
うすピンク色の字見橋  
橋長145.5m、幅員2.0m



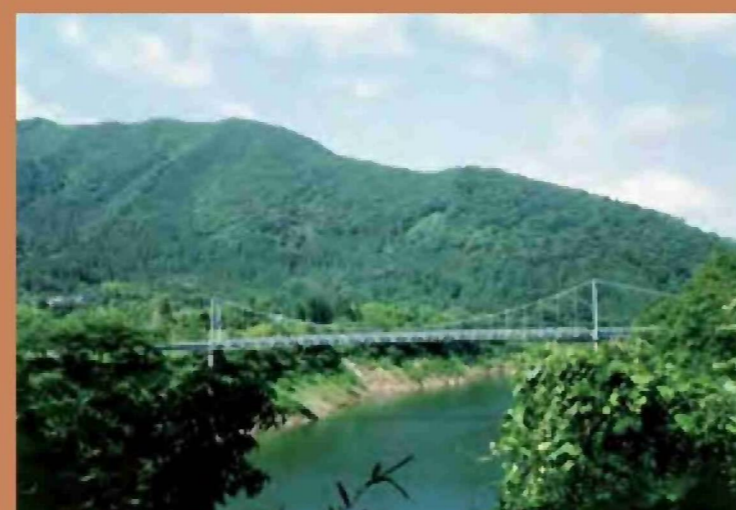
同時期に架けられた音海橋  
橋長53.0m、幅員5.5m



同時期に架けられた脇谷橋  
橋長110.0m、幅員5.5m



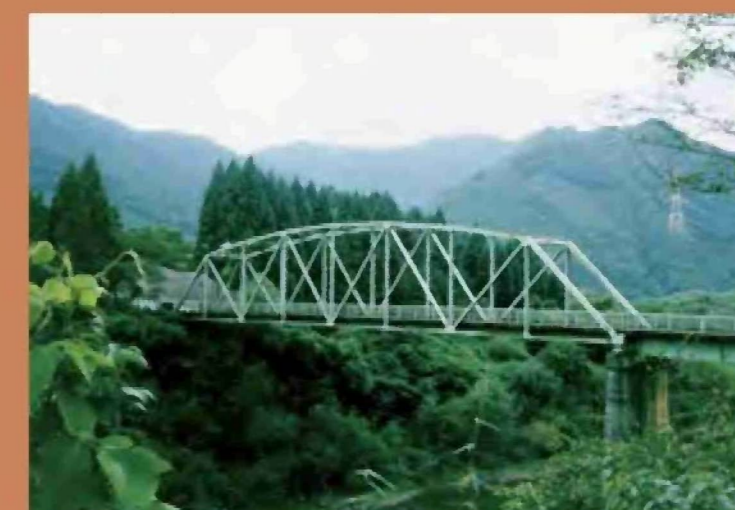
藍色の小幡橋  
橋長116.6m、幅員1.2m



空色の向山橋  
橋長135.0m、幅員3.0m



灰色の文字轟地橋  
橋長98.0m、幅員1.2m



うす緑色の萱野橋  
橋長82.6m、幅員3.6m